

■ 全体講評

今回の総合実力診断模試は、過去の類似試験区分の本試験問題や弊社公開模擬試験で出題された問題を編集して、それぞれの分野でどれだけ実力が身についているか判断ができるように出題されています。平易な問題、選択問題だけでなく骨のある問題も見られ、今までの学習内容がどの程度身についているかを確認しやすいものです。したがって、これまでの学習でどれだけ実力が身についたのか、自分自身の知識、能力レベルがどれくらいなのか確認することができます。結果を受けて、何を分かっているのか、今後何を身につけていくべきかを各自きちんと把握し、本試験までの学習指針を立てる必要があります。全体として得点率は高かったと思われれます。それゆえに、各自できなかった分野や知識を中心にしっかりと復習するようにしましょう。

応用情報技術者試験では、問 1、問 2 の中から 1 問選択、問 3 から問 12 中から 5 問選択するものです。解答に際して、全体の解答における時間配分に注意が必要です。ただし、今回の試験では、極端に難しい問題はなかったために、うまく解答して高得点を挙げている人も少なくありませんでした。その一方で、まったくお手上げという人はあまり見られませんでした。どの問題を選択するかは十分に対策を考えておかなければなりません。自分自身の普段従事している業務の特質や業務経験などから、アルゴリズムやデータベースは、どちらかが苦手という人も少なくありません。また、ストラテジ系やマネジメント系が得意であるという人もいます。どの問題を選択するかが、合否に大きく係わりますので、よく考えて自身の問題選択を行うよう意識してください。

解答方法の注意点として、問題文や設問をよく読むことがあげられます。解答のヒントやそのものを書いてある場合がありますので、それを無視した独善的な解答や表記をしてはならないといえます。特に、ストラテジ系・マネジメント系の問題は、問題文の文脈に沿って解答しなければなりません。解答表現には細心の注意が必要です。特に、漢字の間違いや問題文や設問文の指定違反の解答が目立ちました。注意しましょう。また、問題の選択が不適切な解答（問題選択の丸印がない、丸印の場所が違う、丸印を付ける問題がし

定数と違っているなど)が散見されていますので注意しましょう。

問1 家電販売業におけるマーケティング戦略

SWOT 分析とマーケティング手法に関する問題でした。SWOT 分析は、自社の強み、弱み、機会、脅威を明確にする経営分析手法です。本問では基本的な出題であり、SWOT 分析をあまり知らなくても十分に解答可能でした。比較的正解率は高かったように見受けられます。

(設問 1)

SWOT 分析の穴埋め選択設問でした。問題文の記述をよく読んだ上で、選択肢の意味をとらえて解答しなければなりません。空欄 c が少し難しかったかもしれませんが、消去法で解答することができます。正解率は高かったように見受けられます。

(設問 2)

SWOT 分析の項目を解答する穴埋め選択設問でした。選択肢の数が限定されていることと、SWOT の意味を関連付けることに気がつけば、SWOT 分析を良く知らなくても解答可能です。正解率はよかったです。

(設問 3)

この設問は、マーケティングの実務経験があれば容易に解答することができます。選択肢イが少し悩ましいのですが、選択肢の比較で不適切と判断できます。正解率はよかったです。

(設問 4)

この設問は、問題文の状況を理解するのが少し困難です。特定のデータベースにアクセス集中することが懸念されることが予想されます。分析用に別のデータベースを切り出すことを解答ポイントとしました。正解率は高くありませんでした。

問2 文字列の探索

本問はテキストの文字列から特定の文字列の探索を行うアルゴリズムの問題で、やや易しかったように見受けられます。しかし、流れをしっかりと理解しないと解答できません。まず、図の意味をきちんと理解することがポイントです。正解率は高かったです。

(設問 1)

図と問題文の手順をしっかりと理解すれば正解できます。添字の数の正確な調整に注意します。事例を使って添字のずれがないかを確認する必要があります。

小文字、大文字の区別、本問で用いられている手続きの表現に注意してください。代入文の文法は等号ではなく矢印です。普段扱っていると思われる言語の文法で解答されている人も見られています。注意しましょう。

(設問 2)

移動距離関数 $d(x)$ を用いた改善です。設問 1 同様に図と表および問題文の手順をしっかりと理解すれば正解できます。計算量の設問は本試験でもよく見られますのでできなかった人はしっかりと復習しましょう。

問3 プロダクトポートフォリオマネジメント分析

この問題は、プロダクトポートフォリオマネジメント分析 (PPM 分析) の問題でした。製品事業のポジショニングを分析する手法であり、基本的な理解があれば解答できます。したがって正解率は高かったと思われれます。ただし、計算問題がやや難しかったかもしれません。

(設問 1)

PPM 分析の分析軸となる指標を解答します。これは知識がないと解答困難です。できなかった人は知識確認が必要です。

(設問 2)

(1) は市場占有率と市場成長率の計算問題でした。空欄 d の解答が 450 というものが多く見られました。これは今年の市場規模/昨年の市場規模という計算をしたものと思われれますが、他の製品群の数値を見るとこの計算式ではないことが分かります。

(2) は製品群のポジショニングを解答します。問題文の誘導により正解率は高かったものと見受けられます。

(設問 3)

(1) はスター製品群がないこと、(2) はワイルドキャットをスターに育てることが正解のポイントです。(1) の正解率が良くありませんでした。問題文の文脈に沿って解答すれば正解にたどり着けます。キャッシュカウの成長率が下がっているのは直近の利益減の問題であることを理解しましょう。

(2) は Z 製品群の撤退をあげた解答が多かったですが、(1) を受けての (2) ですのでこの点は解答

と直接関係ありません。撤退すべきかどうかは良く分からず、確実に言えることを解答しましょう。

問4 キャパシティ管理

この問題は待ち行列を中心とした計算問題です。集中して計算間違いをしないように細心の注意を払うことが大切です。また、解答表記の制約違反、具体的には有効数字無視の解答が見られています。注意しましょう。

(設問 1)

平均応答時間を計算して解答する設問でした。ここで大きなネックとなったのが、「装置名」とは何を指すのかです。装置の機能ではなく名前をしっかりと解答します。正解率は高くありませんでした。

(設問 2)

この設問のネックは「有効数字」への注意散漫でした。小数第 2 位まで解答する必要があります。(1) を 0.3 秒、(3) を 0.9 秒と解答するのは誤りです。注意しましょう。

(設問 3)

(1) は処理能力の高い装置を 1 トランザクション当たりのステップ数の多い機能に割り当てることがポイントです。装置名の「装置」が抜けていても正解としましたが、装置という表現をつけて解答すべきです。注意しましょう。

(2) はやはり有効数字への注意不足の解答が多く見られています。設問文に明記された解答制約をきちんと守るように注意しましょう。

問5 TCP/IP とイーサネット LAN

この問題は LAN, TCP, IP の基本的な理解度を問う問題でした。比較的正確率は高かったように思えますが、知識がなければ正解できないので、この分野に対するしっかりした学習が必要です。

(設問 1)

これは知識を問う問題で、ネットワークに関する基本的知識が全般的に問われています。基本的な学習の有無が問われた設問であったといえましょう。選択問題でもあり正解率はよかったといえます。

(設問 2)

ARP, MAC アドレス, IP アドレスに関する基本的な問題でした。(1) は ARP の表現があることが前提で、ポイントが不完全だと 1 点減点しました。(2) は表記の間違い (大文字と小文字) が目立つので注意

しましょう。

問6 物品管理システム構築

この問題は E-R 図と SQL 文に関するデータベース分野の問題でした。内部結合が出題されていますが、周りの脈絡を読めば何とか解答可能なので解答しやすかったように思えます。しかし、解答表記不備で失点が多く見られ、正解率はあまりよくなかったように見受けられます。

(設問 1)

空欄 a, 空欄 b, 空欄 c は、主キーあるいは外部キーの下線あるいは破下線が必要です。これらが漏れている解答があまりにも多く驚いています。凡例に従ってしっかりと記述しましょう。

(2) では、解答欄の形状に対してどう解答表現すべきかが悩ましかったように思われます。物品と物品構成の関係が分かる表現をする必要があります。なお、図に矢印を記入したイメージということで、左から右への水平矢印は 1 点としています。左から右下への矢印は正解としています。

(設問 2)

前述のようにあまり難しくない SQL 文の穴埋め設問でしたが、表現不備が目立ちました。「部署」を「部置」、「EXISTS」を「EXIST」という誤記が目立っています。また NOT EXISTS 述語を NOT IN 述語で表現しようとする解答も散見されています。副問合せの SELECT 文の列指定が * なので、IN を用いるのは不適切です。注意しましょう。

問7 電子レンジの制御

組込みシステム分野の問題です。電子レンジの制御に関する基本的な知識や設計の問題でした。この分野での経験がないとなかなかうまく解答できないものと思われれます。できのよし悪しがばらついているように見受けられます。

(設問 1)

電子レンジの安全保護装置に関する設問でした。知識の有無と図 2 の正しい理解が解答に必要です。電気知識が必要なため、知識や経験がないと解答困難です。正解率はよくありませんでした。

(設問 2)

加熱時間の設定と制御、割込み処理のフローチャートに関する設問でした。(1) は 38 秒という解答が多く見られました。38 を計算してからさらに適切に処

理する必要があります。(2) では、空欄 f の正解率が良くありませんでした。

(設問 3)

コンデンサに関する知識や計算の問題ですが、問題文の記述により、中学レベルの数学知識で解答することは可能です。正解率は比較的良かったと思われます。なお、設問文の表現から単位のピコ F を解答につけても正解としています。

問8 レンタル業務システムの設計

オブジェクト指向設計に関する問題でした。クラス図とシーケンス図を突き合わせていねいに読み解く必要があります。問題文の分量も解答の分量も多く時間がかかるものと思われれます。できもあまりよくありませんでした。

(設問 1)

クラス図を完成させる穴埋め問題です。図 1 と図 2 を丁寧に突き合わせていけば正解に行き着くことができます。項目の表記が不完全で失点するケースが散見されています。(g), (h) は「()」がないと不正解としています。

(設問 2)

シーケンス図を完成させる穴埋め問題です。設問 1 と同様に図 1 と図 2 を丁寧に突合わせていけば正解に行き着くことができます。なお正確に解答を特定するのは困難であり、設問 1 よりも正解率は悪かったように見受けられます。(m) は 2 つの項目が逆でも正解としています。

(設問 3)

問題文の〔レンタル業務の概要〕(1) 会員の登録業務③から抜書きする問題でした。原則解答例の表現以外不正解としています。会員契約状態コードが“除名済”ということにこだわった解答が多かったのですが、正解の表現でこのことは含まれていますので不要です。正解の表現にプラスしてこの条件を書いている場合は 1 点減点としています。

問9 リモートアクセス環境の構築

リモートアクセス環境とセキュリティプロトコルに関する問題でした。知識問題ですので、知識の有無が得点の差になっていると思われれます。正解率がよい人も見られますが、ほとんどできていない人も見られ、できの差が見られているように思われれます。

(設問 1)

IPsec に関する穴埋め選択設問でした。とにかく知識があることが解答の前提となります。できにはバラつきがみられています。

(設問 2)

特に正解率は高くありませんでした。IPsec と NAT の相性の悪さの本質を解答する必要があります。正確な知識がないと解答困難な設問です。

(設問 3)

SSL-VPN のレイヤ 2 フォワード方式に関する穴埋め選択設問でした。ヘッダの並び順でなく付加される順番を解答するので勘違いしないように注意する必要があります。空欄 g の正解率は比較的よいのですが、空欄 f と空欄 h が逆になっている解答が多く見られました。

問 10 システム開発のプロジェクト計画

プロジェクト計画立案に関する問題でした。本問は、計算問題の分量が多く、正解率が良くありませんでした。計算を効率的にできるよう、間違えた人はよく復習しましょう。

(設問 1)

工数、人数、金額などの計算問題でした。なお空欄 j は数字ですが計算数値ではありません。ひとつひとつ慎重にかつ確実に計算する必要があります、正解率はよくありませんでした。

(設問 2)

正解率は比較的良かったように思います。問題文の文脈から手がかりをとらえて解答します。誤答のほとんどが、独断で解答を考えて解答するものでした。注意しましょう。

(設問 3)

これも比較的正確率は高かったと思います。パッケージに対する保守サポート費用を明確にとらえて解答する必要があります。はっきりしない解答の場合得点を半分にしています。

問 11 運用管理システム

本問はテクニカルエンジニア(システム管理)試験の記述式問題の改題で、やや難しかったものと思われます。選択した人が多かったようですが、正解率はあまりよくありませんでした。問題文の条件や状況を正確に読み解く必要があります。

(設問 1)

使用率警告機能の監視間隔を 10 分以内とするという解答は得点を 1 点減点しています。また「5 分にする」などという 10 分未満の特定の時間を限定する解答も 1 点減点しています。正確に必要な十分な条件を解答しましょう。

(設問 2)

(1) は比較的正確率はよかったように思います。(2) は記述不十分の場合、2 点としました。要領よくポイントを抑えた解答表現となるよう注意しましょう。

(設問 3)

ジョブの起動条件を修正する設問でした。ていねいに状況を読み解けば正解できるのですが、全部できている人は少なかったように思われます。なお、(2) は、表 4 の時刻表現にしたがって解答する必要があります。これにしたがっていない表現の場合半分の得点としています。

問 12 流通業における内部統制の監査

システム監査に関する問題です。基本的な問題だったこともあり、選択した人も比較的多く見られています。できも良かったと思われます。監査用語の知識が前提となっていますので、用語の整理をしておくとともに、解答根拠を問題文に見つけていくことが重要です。

(設問 1)

完全な知識問題でした。知っているか知らないかの設問で、この問題を選択する人は身につけている人が多かったように思います。できなかった人はよく知識を確認しておきましょう。

(設問 2)

監査方針と監査チェックリストの突合せによって、比較的容易に解答できます。なお(2)については、契約管理に必要なコントロール目標は契約書締結が第一義的に考えられるので、この点を指摘していないと誤りとしました。

(設問 3)

正解率は高かったようです。特に(2)では手順を具体的に表現して正解としています。不十分と判断した解答は得点を半分にしています。

以上